

2026年2月24日

ウェザーニューズ、「春の小売需要傾向 2026」を発表 3月は季節の歩みが北ほど早い、西はゆっくり、4～5月の気温は全国的に高い傾向 ～4月からUVケアや冷感インナー、コールド商品など春夏商品の需要が急増～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:石橋 知博)は、3～5月の春の天気傾向と、それに伴う商品の売れ行きを予想した「春の小売需要傾向 2026」を本日発表しました。

今年の3月の気温は、北日本では平年より高い、東日本では平年並～高い、西日本では平年よりやや低い～平年並の予想です。エリアごとに特徴が分かれ、北ほど季節は順調に進む一方、西では寒気の影響で季節の歩みが遅くなりそうです。2月23日は関東でも春一番が吹き、初夏の陽気となりました。3月頭にかけて平年より暖かい日が多くなる見通しですが、次第に寒気の影響を受けて季節の歩みは西ほど足踏みしそうです。しかし、その後はそれまで南寄りを流れていた偏西風が北上し、日本付近に暖かい空気が流れ込みやすくなるため、3月末頃から西日本でも気温が上がって、4月には平年を超える暖かさとなり、季節の歩みを感じられそうです。また、この影響で4～5月の気温は全国的に高い水準で推移する見込みです。

このため3月の季節商品の動きは西ほど穏やかとなるものの、4月以降は全国的に売れ行きが好調になりそうです。UVケア商品、アイスコーヒーや冷やし麺などのコールド商品、冷感インナーや汗拭きシートのような暑さ対策グッズなど春夏商品の需要が急激に増え、5月にかけても引き続き好調な売れ行きが持続する見込みです。

当社では、食品やアパレルなどのメーカーや小売店に対して、1kmメッシュの高解像度な気象データのほか、商品の需要予測や来店客予測、法人向け気象情報「ウェザーニューズ for business」、天気連動広告などを通じて、生産や販売の最適化を支援しています。気象情報のビジネス活用にご関心のある企業の方はお問い合わせください。

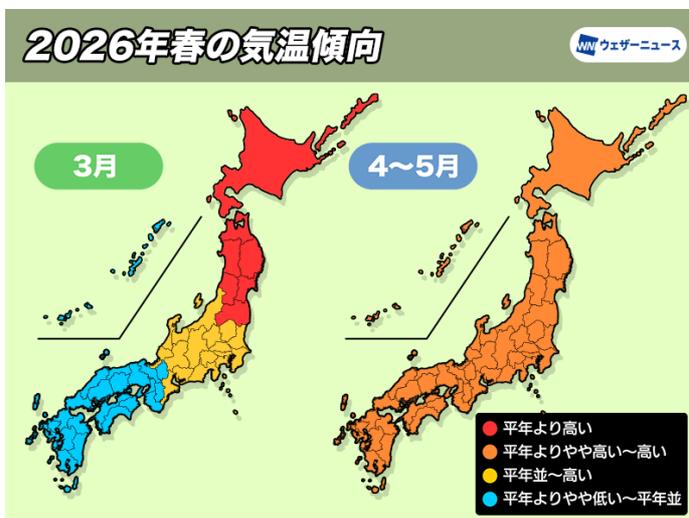
食品やアパレル業界などにおける気象活用のお問い合わせはこちらから

<https://wxtech.weathernews.com/contact.html>

◆春の気温傾向

春(3～5月)は地球温暖化の影響を受けて、北半球全体の気温が平年より高い状態が継続します。この影響で、3月の気温は北日本では平年より高くなりそうです。一方で、偏西風が日本付近で南寄りを流れる時期があり、西回りで寒気が入りやすいため、西ほど気温が低めになる傾向です。具体的には、東日本の気温は平年並～平年より高い、西日本と沖縄・奄美では平年並～平年よりやや低い予想です。

その後は南寄りを流れていた偏西風が次第に北上して、5月にかけて平年並か平年より北



寄りを流れるため、4～5月の気温は全国的に平年よりやや高い～高い予想です。3月は季節の歩みがゆっくりだった西のエリアでも、4月に入ると平年を超える暖かさとなり、季節の歩みを感じられそうです。

◆春の降水傾向

3～5月の降水量は、北日本で平年並、東～西日本、沖縄・奄美では平年並～少ない予想です。3月は低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は周期的に変化します。冬型の気圧配置になることもあるので、日本海側を中心に雪の降り方には注意が必要です。4月は周期変化するなかでも晴れる日が多くなります。5月は本州付近で上空寒気の影響を受けて、雷雨に見舞われる日がありそうです。

2025年は東北を除いて5月に梅雨入りし、北陸～九州地方では平年よりかなり早い、沖縄・奄美で早い梅雨入りとなりました。今年の梅雨入りは、北日本は平年並か遅い、東～西日本では概ね平年並、沖縄・奄美では平年より遅い傾向となりそうです。

◆参考:夏の気温傾向

夏(6～8月)は北半球全体の気温や日本近海の海面水温が平年より高い状態が継続し、夏の気温は平年より高めに推移する見込みです。ただし、今後のエルニーニョ現象や正のインド洋ダイポールモード現象の動向に左右される側面があります。今年はエルニーニョ現象およびラニーニャ現象は発生しないものの、エルニーニョ現象に近い海面水温分布となる見通しです。仮にエルニーニョ現象が発生した場合は、気温は平年並～低くなる傾向があります。一方で、インド洋では正のインド洋ダイポールモード現象に近い海面水温分布となる可能性があります。仮に正のインド洋ダイポールモード現象が発生した場合は、北日本と沖縄・奄美で平年並～高めに推移する傾向があります。

太平洋高気圧の日本付近への張り出しは平年並で、8月を中心にやや弱まる時期がありそうです。また、チベット高気圧の勢力が平年より弱い予想で、昨年ほどの勢力はなさそうです。それでも、高気圧の日本方面への張り出しが強まる時期には猛暑になる可能性が十分にあるため、油断は禁物です。

※最後のページにエリアごと(北日本、東日本、西日本、沖縄・奄美)の気象見解を記載しています。

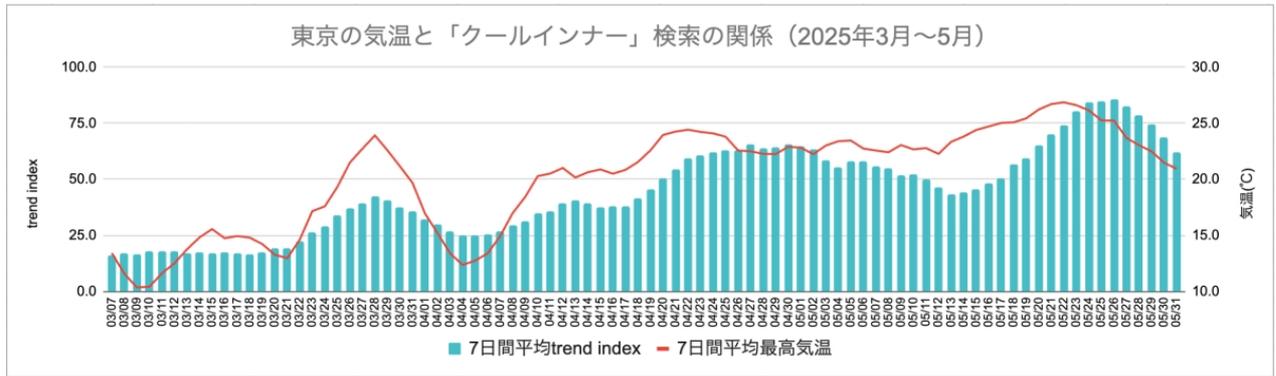
◆春の小売需要傾向 2026

当社流通気象チームの気象データアナリストは、過去の春の Google 検索数の傾向と気象データの間を分析し、今年の春の気温傾向をもとに季節商品が注目される時期を予想しました。

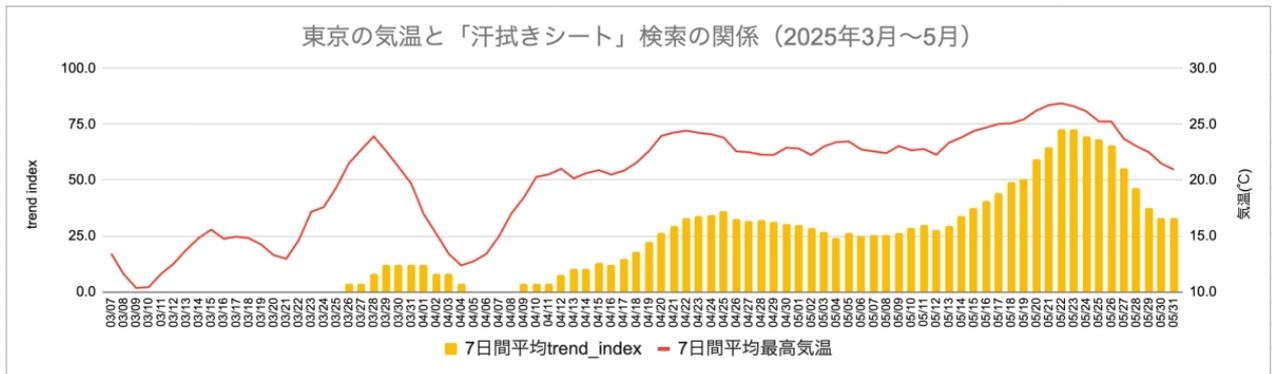
今春は4月～5月を中心に、全国的に概ね気温が高い傾向となる見込みです。そのため、コールドドリンクやアイス、冷やし麺などのコールド商品や、冷感インナー、汗拭きシート、制汗剤といった暑さ対策につながる衣料品や日用品など、春夏商品の需要は高まりそうです。ただし、3月は西ほど寒気の影響を受けて、季節商品の需要が高まるタイミングがやや遅れる可能性があります。

～類似年の需要傾向～

今年の東日本の気温は、春は2025年と類似した気温傾向になる予想です。春の類似年である2025年の3～5月にかけて春夏商品の Google 検索数と東京の気温の傾向を見てみると、「クールインナー」の検索数は3月下旬の気温上昇に伴い増加、その後、4月中旬頃から気温が上がるにつれて、検索数も緩やかに増えています。また、この期間の検索数のピークは5月下旬で気温のピークと一致しています。



また、「汗拭きシート」の検索数も同様の傾向が見られますが、3月末や4月下旬と5月下旬に大きく検索数が伸びており、このタイミングで気温は25度前後まで上がっています。東京で最高気温25度前後は5月下旬並の気温となりますので、3月や4月でも同程度の気温となると汗拭きシートへの注目度が集まることがわかります。ただし、今年の3月前半は、西ほど寒気の影響で暖くなるタイミングが遅れる可能性がありますので、春夏商品の動きが北～東日本より遅くなりそうです。



◆商品需要に関連する気象サービス

当社は食料品やアパレル、家電のメーカーや、スーパーマーケットやコンビニなどの小売店向けに、[1km × ツシュ\(四方\)の気象データ](#)や[来店客予測](#)を提供し、企業の店舗運営や販売戦略をサポートしています。天気・気温・降水量・風向・風速・気圧・湿度などさまざまな気象要素や体感に関する短期・中期・長期予報や実況データをAPIなどで提供します。企業は、気象データを企業が運用している商品の需要予測や来店客予測、レジフトの調整、自動発注システムなどに取り入れることができます。

また、企業専用にお天気アプリをカスタマイズできる「[ウェザーニュース for business](#)」や商品の販売数やウェブサイトの閲覧数、来店客数などの企業のデータと気象データを用いてAI需要予測をお試しできる「[ウェザーニュース 360 Insight](#)」、商品需要が高まる気象条件時に広告を配信する「[天気連動広告](#)」や、お天気キャスターとのYouTubeやSNSでのコラボ企画も実施しています。気象情報のビジネス活用にご興味のある企業の方は、以下よりお問い合わせください。

お問い合わせはこちらから：<https://wxtech.weathernews.com/contact.html>

◆エリアごとの気象見解

エリア	3～5月、6～8月の気温 (平年との比較)	3～5月の気象見解
北日本 (北海道・東北)	3～5月: やや高い～高い 3月: 高い 4月: 高い 5月: やや高い～高い 6～8月: やや高い～高い	<p><3月> 天気は周期変化で、日本海側を中心に雪の降る日がありますが、下旬は晴れる日が多くなりそうです。積雪エリアでは融雪による影響に注意が必要です。気温は平年より高い予想です。</p> <p><4月> 周期的に雨や雪が降りますが、晴れる日が多くなりそうです。気温は平年より高い予想で、寒暖差が大きくなるため体調管理をしっかりとしてください。</p> <p><5月> 全般に晴れる日が多いですが、上空寒気の影響で雷雨になる日もありそうです。気温は平年よりやや高い～高い予想で、日毎の気温差や花粉に注意が必要です。体調管理や花粉対策は万全にしてください。</p> <p>なお、東北の梅雨入りは平年並か遅い傾向です。</p>
東日本 (関東甲信・北陸・東海)	3～5月: 平年並～高い 3月: 平年並～高い 4月: 高い 5月: やや高い～高い 6～8月: やや高い～高い	<p><3月> 日本海側は中旬にかけて雪の降る日がありますが、下旬は晴れる日が多いでしょう。太平洋側は天気が周期的に変わりますが、晴れる日が多くなりそうです。積雪エリアは融雪による影響に注意が必要です。気温は平年並～高い予想で、桜の開花も平年並～やや早い予想です。</p> <p><4月> 上旬は晴れる日が多い見込みです。中旬からは天気が周期的に変化しますが、ぐずつきやすい時期がありそうです。気温は平年より高い予想で、寒暖差に注意が必要です。</p> <p><5月> 晴れる日が多い見込みですが、中旬以降、にわか雨や雷雨になる日がありそうです。気温は平年よりやや高い～高い予想です。ゴールデンウィークや運動会など、屋外での活動の際は、こまめな水分補給や紫外線対策が欠かせません。</p> <p>なお、梅雨入りは概ね平年並の予想です。</p>
西日本 (近畿・中国・四国・九州)	3～5月: やや低い～高い 3月: やや低い～平年並 4月: 高い 5月: やや高い～高い 6～8月: やや高い～高い	<p><3月> 全般に天気が周期変化しますが、晴れる日が多くなりそうです。日本海側は月初め頃に雨や雪が降りやすくなりそうです。雪が残っている所では融雪に注意が必要です。気温は平年よりやや低い～平年並で、季節の進行は遅く感じそうです。</p> <p><4月> 上旬は晴れる日が多くなります。中旬からは天気が周期変化でぐずつきやすい時期がありそうです。気温は平年より高い予想ですが、寒暖差には注意が必要です。</p> <p><5月> 晴れる日が多い見込みですが、中旬以降、にわか雨や雷雨になる日がありそうです。気温は平年よりやや高い～高い予想です。ゴールデンウィークや運動会など、屋外での活動の際は、こまめな水分補給や紫外線対策が欠かせません。梅雨入りは概ね平年並の予想です。</p>
沖縄・奄美	3～5月: やや低い～高い 3月: やや低い～平年並 4月: やや高い 5月: やや高い～高い 6～8月: 高い	<p><3月> 中旬にかけて天気が周期的に変わりますが、晴れる日が多いでしょう。下旬は曇りや雨の日が多い時期がある見込みです。気温は平年よりやや低いため、肌寒く感じる日もありそうです。また、朝晩はヒンヤリするので、体調を崩さないようにご注意ください。</p> <p><4月> 天気は周期的に変わりますが、中旬は晴れる日が多くなります。一方、上旬と下旬はぐずつく時期がありそうです。気温は平年よりやや高い予想です。紫外線も強くなってくる時期なので、しっかりと対策を行ってください。</p> <p><5月> 全般に曇りや雨の日が多くなりますが、晴れやすい時期がありそうです。本格的な雨のシーズンの前に十分な備えが必要です。気温は平年よりやや高い～高い予想です。梅雨入りは平年より遅い傾向です。</p>

※6～8月の傾向については、熱帯の海面水温予測の信頼度が低いため、今後予測が変化する可能性があります。

2026年5月頃に改めて、6～8月の気象見解と商品需要を予想する「夏の小売需要傾向2026」を発表予定です。

※本傾向は2月24日時点のものです。